

田辺
かづ
き
38歳

新たな市政を構想 オール古賀の実現へ

1980生
古賀育ち



「対話」と「交流」を起点に、住民の皆様の「声」を市政に反映させます。
そして、住民の皆様にとって「政治が手元にある」と実感できる市政を実現させます。
いまの古賀を築いてきてくださった人生の先輩方、先人の皆様のご尽力に感謝し、
継ぐべきものを確実に継ぎ、新たな発想を加え、子どもたち孫たちの未来につなぎます。



2県議会議員
8年の実績

田辺かづき後援会事務所
〒811-3103 福岡県古賀市中央1-6-40
TEL 092-692-8510 FAX 092-410-7730
MAIL challenge@tanabe-kazuki.jp

現場主義に徹します。

古賀市のためにしていきたいこと

◆産業振興

- <農業・商業・工業の力をさらに引き出す>
- 交通結節点の「地の利」を生かした適正な土地利用と企業誘致を推進し、「働く場」を確保
- 古賀駅周辺にぎわい創出と中小企業・小規模事業者支援
- 農業生産基盤の整備と担い手育成・支援、先端技術などによる生産・消費拡大
- ◎宗像、福津、糟屋、遠賀と広域的に連携し、経済・観光振興を目指します。
- ◎薬王寺温泉や国史跡・船原古墳をはじめ魅力ある地域資源の力を引き出します。
- ◎中小企業の振興を図るための条例の制定を検討します。
- ◎映画やドラマのロケ地となる「フィルムコミッション」の誘致に挑戦します。

◆チルドレン・ファースト

- <子育て支援の充実、教育環境の向上>
- ◎学力、体力の向上を図り、「生きる力」を伸ばします。
- ◎十分な保育の受け皿確保を進め、病児や休日の保育などに応える体制の充実を図ります。
- ◎より充実した医療費助成制度の構築に努めます。
- ◎「通学合宿」など地域による子育てを後押しします。
- ◎登下校の子どもの安全を確保するため「ゾーン30」の整備を推進します。
- ◎小児がん治療等で予防接種の免疫を消失した際の「再接種」に対する助成を検討します。
- ※「ゾーン30」とは小学校周辺などの区域を指定し、30km/hに速度を規制する交通安全対策です。

◆誰もが生きやすい地域社会

- <医療・介護・障がい者福祉の充実>
- ◎あらゆる立場の人が「QOL (Quality Of Life=生活の質)」を向上できる古賀市を目指します。
- ◎超高齢社会に対応できる医療・介護体制を目指し、健康づくりを推進します。
- ◎子どもの貧困対策に取り組んできた経験を生かし、貧困・格差対策に注力します。
- ◎高齢者にやさしいゴミ収集の手法を検討します。
- ◎障がい者の皆さんの就業や生活を支援します。
- ◎地域公共交通網の整備を進めます。
- ◎西鉄宮地岳線跡地は、地元の「声」を尊重します。安全・安心の確保、憩いの空間形成なども含めた活用方法について、住民の皆さんとともに検討します。

◆スポーツ・文化の振興

- 国際交流と多文化共生も推進
- ◎生涯スポーツや文化団体の活動を応援します。
- ◎県と連携し、古賀市の特性を生かした新たなスポーツ関連施設を検討します。
- ◎県馬術競技場(筵内)の活用を促進します。
- ◎東南アジアや欧州との交流拡大を図ります。

◆地域防災力を強化

- ◎消防団の活動を支援し、団員の皆さんと持続可能なあり方を検討します。
- ◎自主防災組織の運営を支え、高齢者や障がい者の皆さんなど避難行動要支援者の個別計画策定を促進します。
- ◎民間と連携し、ドローンやITを活用した防災体制を構築します。

◆人権を重んじ、平和を希求する

- ◎人権を尊重した市政運営を徹底します。
- ◎「LGBT (性的少数者) パートナーシップ条例」の制定を検討し、あらゆる生き方を保障します。
- ◎あらゆる差別の解消に向けた施策を推進します。
- ◎世界の恒久平和を目指す古賀市を実現します。

◆ごみ減量、廃棄物のリサイクル推進による循環型社会を目指します

◆「SDGs」の理念に基づき、持続可能な地域社会を構築します

- ※「Sustainable Development Goals」(持続可能な開発目標)
国連サミットで2015年に採択された世界の未来のために不平等・不正義をなくし、私たちの地球を守るための計画。

日々の活動を配信中！



田辺かづき

スマート



古賀市が全国とつながる —政治家のネットワークを生かす

私は、政治家として、全国に人間関係のネットワークを築くことに努めてきました。現在、北海道から沖縄まで多くの同世代の国会議員、地方議員と信頼関係を築いています。骨髄移植のドナーに対する助成制度を全国の自治体で一斉に提案し、マニフェスト大賞最優秀政策提言賞を受賞するなど政策づくりでも連携してきました。こうしたネットワークは、必ず古賀市政に生かしていきます。



中村 延子さん（東京都中野区議会議員）

田辺かずきさんは、全国の若手政治家の仲間として活動をともにさせていただきました。地元に対する情熱や政策立案の力もさることながら、仲間が支援を必要とすれば、どこへでも飛んで来てくれるなど、同志を大切にする心あたたかさに全国の仲間から絶大な信頼を受けています。そんな田辺さんだからこそ、市政を前進させることができると信じています。今回の挑戦を私も心から応援しています。



平賀 貴幸さん（北海道網走市議会議員）

私にとって「盟友」である田辺かずきさん。その手腕と覚悟。強い信念と伝える力。実現へと向かう行動力は抜群です。全国の若手政治家として共に活動した私は、そばにいてその素晴らしさを常に感じていました。古賀市の未来を切り開き、全国へとつなげるネットワークも大きな財産です。「大切なものは地域にこそある」。田辺さんこそ地域の未来、古賀市の未来そのもの。自信をもって推薦します。



古賀市が県とつながる —県議会議員の経験を生かす



私は、約8年間、県議を務めさせていただきました。

古賀市として、まちづくりを進めていくためには、県とのつながりがとても重要です。私は知事をはじめ県幹部はもちろん、様々な政党に所属する県議の皆さんと人間関係を築いてきました。

そして、本会議や委員会の質疑で、私たちの生活のあらゆる分野に及ぶ多くの政策を提案し、実現してきました。地域防災力の強化や障がいのあるお子さんの学校現場での医療的ケアの推進などもその成果。こうした政策実現の経験を、必ず古賀市政に生かしていきます。

＜後援会より — 田辺かずきを推薦します＞

平素より、田辺かずきの政治活動をご理解とご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。田辺は政治活動を始めて以来、誰よりも古賀市内を愚直に回っていました。皆様との対話から課題を発見する「力」、そして政策を立案する「力」と、実現する「力」。田辺のこれまでの活動を見守り続けてきた皆様が、これらを最も理解されていることと存じます。

これからの古賀市のまちづくりには田辺の行動力と政策力が必要だと確信しています。皆様のお力が必要です。田辺かずきを全力で応援してまいりましょう！

納富 育代（後援会名誉会長）

時田 正彦（後援会長）

後援会一同

古賀市の皆さんとともに歩む —「対話」と「交流」を起点にまちづくりを進める

私が政治家として最も大切にしているのは、誰とでも顔を合わせて話すこと。人はみんな考え方が異なります。しかし、「対話」することによって、お互いの理解が深まります。

私は古賀市内のすべての地域をくまなく回り、皆さんとの対話を重ねてきました。聞かせていただく「声」からたくさんの生活課題、地域課題を見出し、これらを解決する政策をつくることで、「**政治が手元にある**」と実感していただけるように——。私はこれからもこの理念に基づき、活動します。子どもたちや孫たちに豊かな地域社会をつなぐため、みんなの力を合わせ、「**オール古賀**」で進んでいきましょう。

◇みんなでつくる古賀市、子どもの視点も—予算編成の「見える化」

対話が民主主義の基礎。この考え方から、古賀市の政策づくり（予算編成）の過程に住民の皆さんのが関わる仕組みを検討します。私がこれまで続けてきた対話集会の手法を応用し、課題ごとのタウンミーティングや各自治会の公民館での意見交換会を開催します。これにより、私たち一人一人が市政の当事者として様々な課題について認識を共有し、話し合える場をつくります。さらに、子どもたちの意見も聴き取り、次世代の感性を新たな政策につなげます。



※クラウドファンディングとは、社会課題などを解決するためにインターネット上で不特定多数の人々に賛同を求めて資金を調達する仕組み

◎古賀版クラウドファンディングを推進し、財政基盤を強化します

◎全国の首長と連携し、地域社会を強化する財源の確保に取り組みます

東京五輪キャンプ地に決定！ ルーマニア柔道の誘致に成功！



ルーマニア柔道選手団が来福した際、県と古賀・福津両市の職員の皆さんと一緒に歓迎=2018年6月4日

2020年の東京オリンピックで、古賀市がルーマニア柔道の事前キャンプ地に決定しました。福津市と合同でルーマニア選手団を受け入れます。私は地元の県議会議員として、当初から誘致活動に関わってきたので、とてもうれしく思います。11月末、古賀市内で基本合意書に調印。今後、オリンピック本番まで、選手団が来日した際には古賀、福津両市で受け入れることになり、国際交流が実現します。

私は今年2月、事前キャンプ誘致活動を先行していた宗像市と築上町を訪ね、その取り組みを聞き取りました。キャンプ地となれば、選手の皆さんの練習をサポートするだけでなく、子どもたちをはじめ市民の皆さんとの交流活動、経済・文化の相互理解のための取り組みなども展開できるため、古賀市にとって国際交流と多文化共生を根付かせる重要なチャンスと位置付け、県や古賀市、市民有志の皆さんと誘致活動を展開してきました。

みんなでルーマニア柔道選手団を応援し、盛り上がりましょう！

田辺かずき プロフィール

1980年5月16日生まれ

出身：福岡県古賀市

家族：会社員の妻、11歳の長男、8歳の長女

尊敬する人物：両親、福澤諭吉、出光佐三

好きなスポーツ：ラグビー、水泳、テニス、野球

好きな音楽：サザン、椎名林檎、ドリカム

好きな作家：夏目漱石、平野啓一郎、山崎豊子、綿矢りさ

好きな漫画：手塚治虫の作品、「家栽の人」（原作・毛利甚八）

「博多っ子純情」（長谷川法世）

好きな俳優：深津絵里、堤真一、菅野美穂

特技：珠算・暗算（花見そろばん教室OB）

1987年／暁の星幼稚園 卒園（古賀子ども劇場会員）

1993年／花鶴小学校 卒業（第2回少年の船参加）

1996年／古賀中学校 卒業（生徒会長を務める）

1999年／福岡県立福岡高校 卒業（高校51回）

2003年／慶應義塾大学法学部法律学科 卒業

2003年／毎日新聞社 入社／福井支局 配属

2006年／大阪本社社会部 配属

橋下徹・大阪府知事（当時）、大阪府警、甲子園

福祉問題、地域活性化、国際紛争などを取材

2011年／福岡県議会議員 初当選

2015年／福岡県議会議員 2期目当選

県議の任期中、予算・決算の特別委員会、農林水産委員会

や厚生労働環境委員会など様々な委員会に所属。福岡県

タイ友好議員連盟事務局長としてはタイ政府の副首相ら

閣僚と会談を重ね、福岡県に国内2カ所目となるタイ総領事館設置を実現。スポーツ議員連盟幹事も。

福中・福高同窓会顧問、古賀競成館高校後援会名誉顧問

2017年度には古賀東小学校のPTCA会長も務める。

